

京都府感染症情報センターからの最新情報

(2025 年第 7 週 : 令和 7 年 2 月 10 日～令和 7 年 2 月 16 日) No. 659

京都小児重症患者診療情報システム管理部 長村敏生

今週のコメント : 2025 年第 7 週の報告です。

山城北の**咽頭結膜熱**、京都市右京区の**A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎**、京都市南区・右京区の**伝染性紅斑**は今週も引き続き**警報レベル**です。

眼科定点は**流行性角結膜炎**が 8 件、基幹定点は**マイコプラズマ肺炎**が 3 件報告されました。

全数報告は、2 類の**結核**が 6 件、4 類の**A 型肝炎**が 1 件、5 類は**侵襲性肺炎球菌感染症**と**梅毒**がそれぞれ 3 件、**百日咳**が 6 件報告されました。

A 型肝炎は糞便中に排出された A 型肝炎ウイルスが飲食物を通じて経口摂取されることで感染し、直接的な細胞傷害性は示さず、宿主の免疫応答を介して肝炎を引き起こします。まれに、海産物の生食が原因となる場合もあります。また、性的接触により感染することもあります。先進国では上下水道の整備によって衛生環境が改善したため患者が激減しましたが、現在でも散発的に発生があり、京都府内では 2019 年以前は年間 10 数件の発生がありましたが、ここ数年は年間 0~3 件で推移しています。潜伏期間は平均 28 日 (15~50 日) であり、一般的な症状としては、嘔気、食欲不振、発熱、全身倦怠感ならびに腹痛等で始まり、数日から 1 週間以内に黄疸や褐色尿を呈することが多いとされます。ウイルスに対する特異的な治療法はなく、安静や食事療法など、症状や病態に応じた対症療法が行われます。基本的には 1~2 か月の経過で自然に回復し慢性化することはありませんが、1%未満の頻度でまれに重症化 (劇症化) します。糞便中にはウイルスが感染後 1 週間から発症後数カ月まで排出されることがあり、その間の家庭内感染には注意が必要です。感染予防は基本的には手洗い等の標準予防策ですが、アルコール消毒には抵抗性がありますので留意してください。飲食物中のウイルスは、十分な加熱 (85°C で 1 分間以上) によって不活化することが出来ます。また、流行地域への渡航前や、居住空間を同一としている患者家族に対する感染予防として、ワクチン接種を行うことがあります。

京都府感染症情報センターホームページのアドレス : <http://www.pref.kyoto.jp/idsc/>

注意 : 上記の下線部分の内容をご覧になりたい方は、パソコンの「Ctrl ボタン」を押しながら**青文字下線部分**をクリックしていただきますと、閲覧することができます。

最新の府内の発生状況（2025年第07週）

全数把握疾患

分類	報告
1類感染症	報告がありません
2類感染症	結核が6件報告されました
3類感染症	報告がありません
4類感染症	A型肝炎が1件報告されました
5類感染症	侵袭性肺炎球菌感染症と梅毒が各3件、百日咳が6件報告されました
全数報告一覧へ	

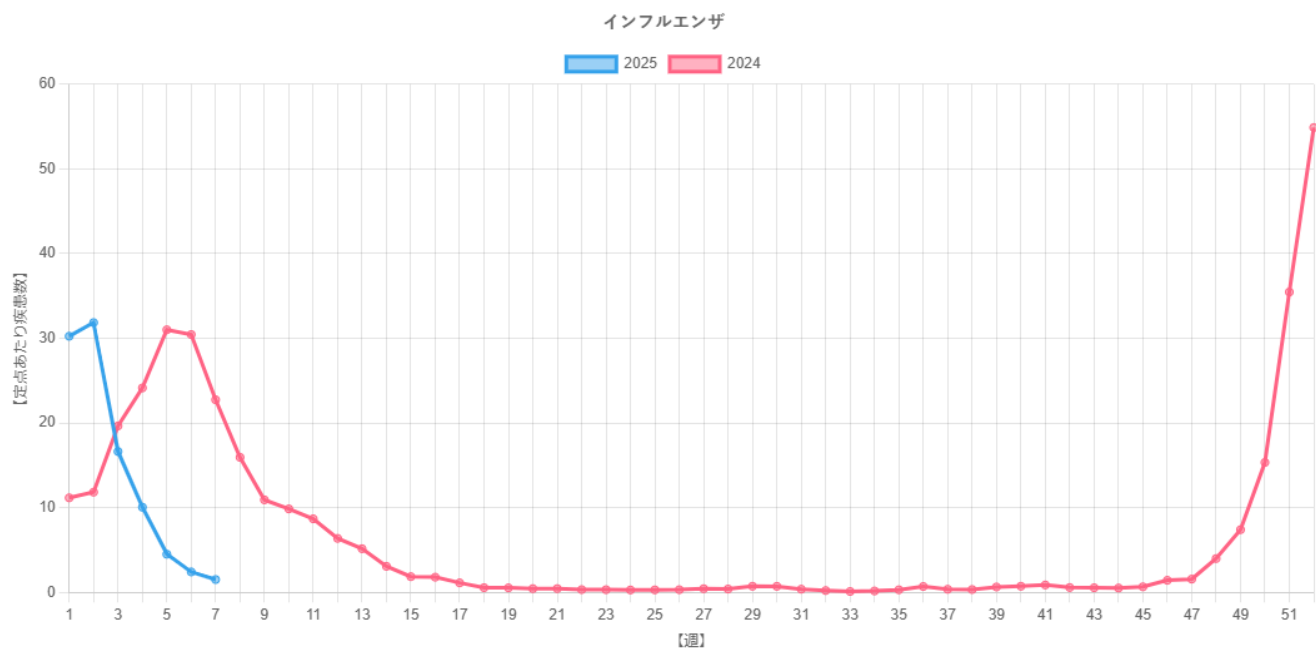
基幹定点 マイコプラズマ肺炎が3件報告されました

眼科定点 流行性角結膜炎が8件報告されました

定点把握疾患

疾患名	定点当たり報告数	前週比	注意報・警報
インフルエンザ	1.51	↓	
COVID-19	3.66	↓	
R S ウイルス感染症	1.09	↑	
咽頭結膜熱	0.51	↓	
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.07	↓	
感染性胃腸炎	6.17	↑	
水痘	0.09	↓	
手足口病	0.05	↓	
伝染性紅斑	0.4	↓	
突発性発しん	0.07	↓	
ヘルパンギーナ	0.01	↑	
流行性耳下腺炎	0.03	→	
急性出血性結膜炎	0	→	
流行性角結膜炎	0.44	↑	

インフルエンザ：前報（第6週）で京都府の警報は解除されましたが、今週もさらに今回の報告数は減少しています。



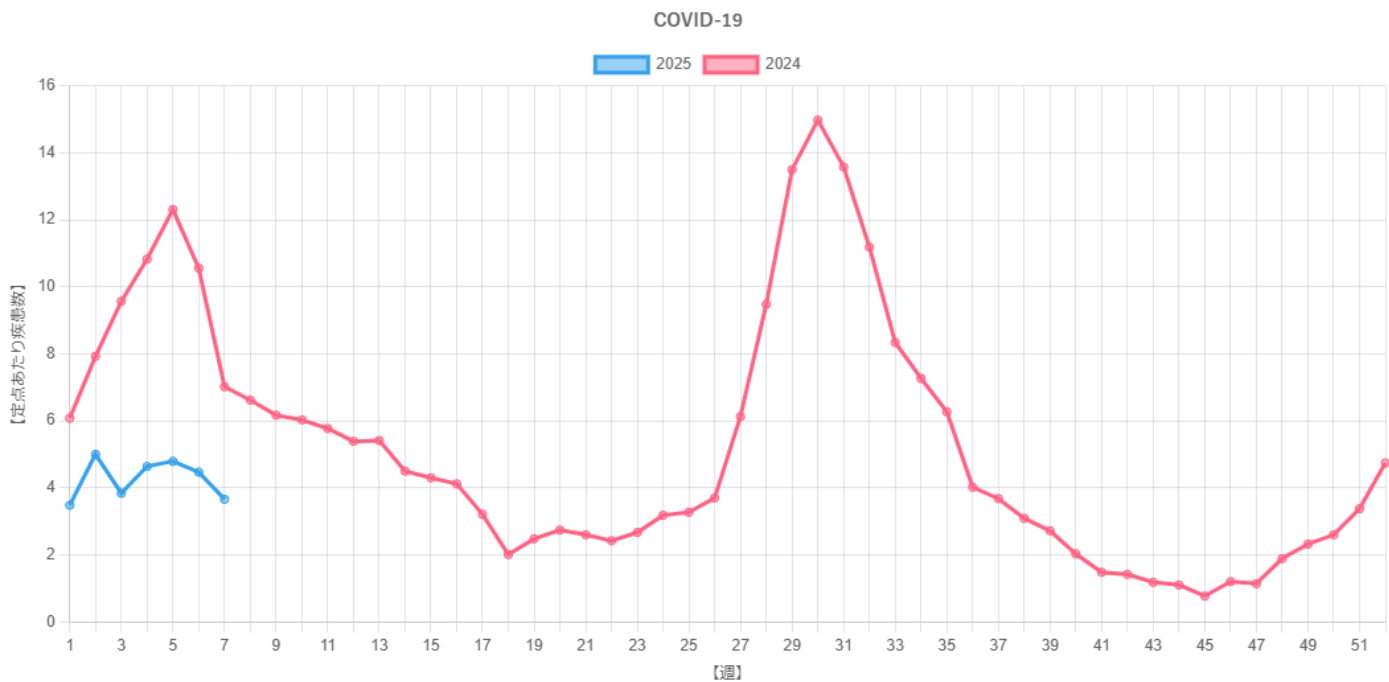
基幹定点からのマイコプラズマ肺炎の報告件数の推移

- 2024年第44週:令和6年10月28日～令和6年11月3日: 21件
- 2024年第45週:令和6年11月4日～令和6年11月10日: 30件
- 2024年第46週:令和6年11月11日～令和6年11月17日: 33件
- 2024年第47週:令和6年11月18日～令和6年11月24日: 22件
- 2024年第48週:令和6年11月25日～令和6年12月1日: 16件
- 2024年第49週:令和6年12月2日～令和6年12月8日: 15件
- 2024年第50週:令和6年12月9日～令和6年12月15日: 18件
- 2024年第51週:令和6年12月16日～令和6年12月22日: 11件
- 2024年第52週:令和6年12月23日～令和6年12月29日: 10件
- 2025年第1週:令和6年12月30日～令和7年1月5日: 6件
- 2025年第2週:令和7年1月6日～令和7年1月12日: 10件
- 2025年第3週:令和7年1月13日～令和7年1月19日: 12件
- 2025年第4週:令和7年1月20日～令和7年1月26日: 2件
- 2025年第5週:令和7年1月27日～令和7年2月2日: 9件
- 2025年第6週:令和7年2月3日～令和7年2月9日: 2件
- 2025年第7週:令和7年2月10日～令和7年2月16日: 3件

⇒ マイコプラズマ肺炎の報告件数は、変動しつつも減少傾向です。



COVID-19 : 2024 年に比べると少ないものの、なお報告数は横ばいです。

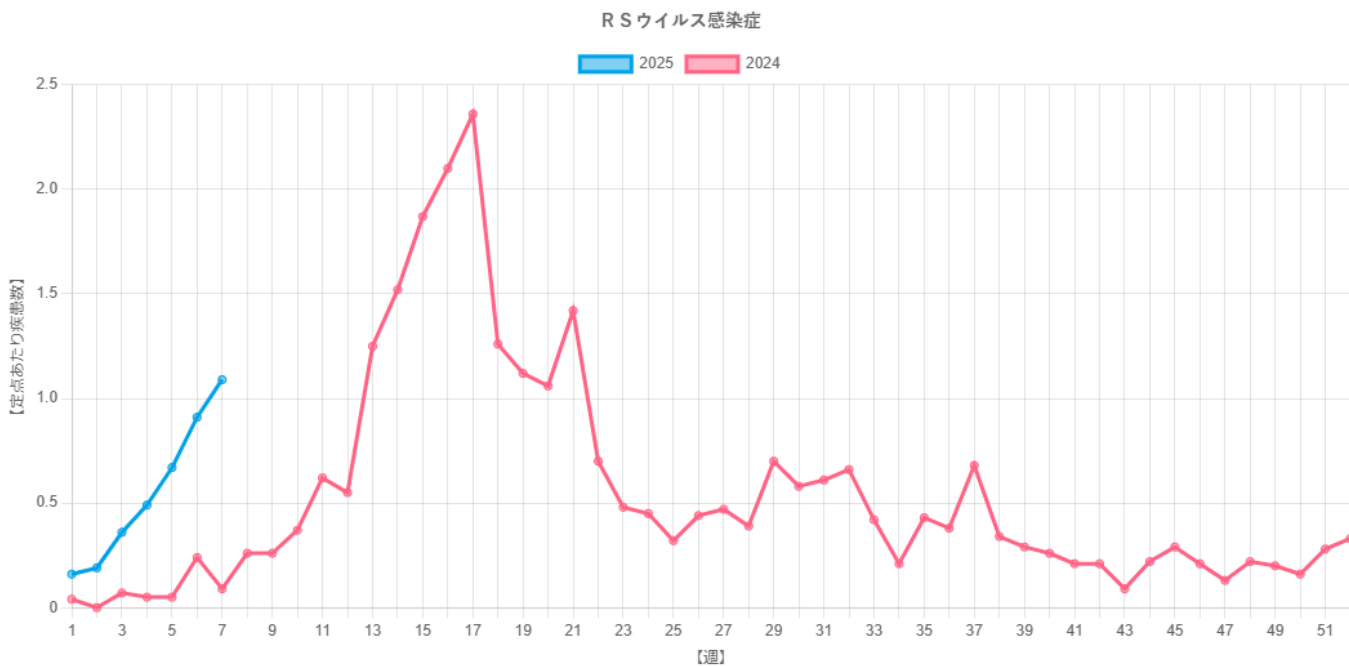


RS ウイルス感染症 : 2024 年に比べると増加傾向にあります。

疾患名

X軸スケール 第1週から1年間 10年間推移

比較 比較する年を指定 年 5年間比較



咽頭結膜熱：今週も山城北で警報レベルが継続しています。

疾患名

京都府全域

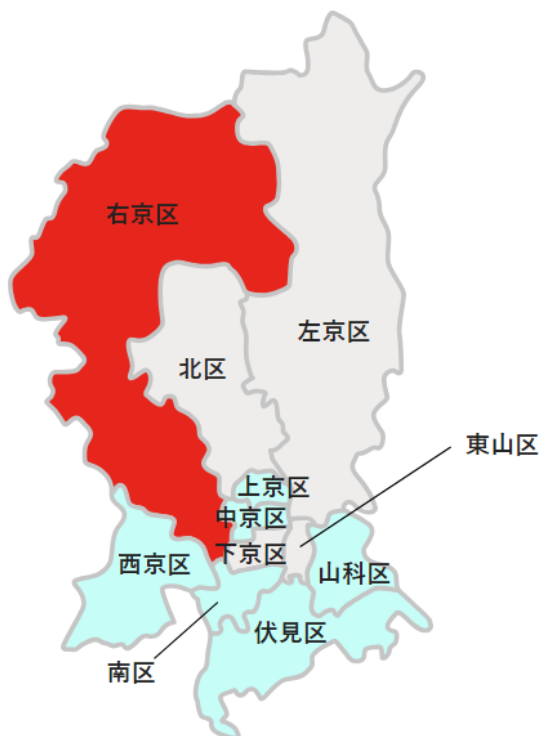


	罹患数	定点当たり
乙訓	2	0.5
山城北	23	2.3
山城南	1	0.25
南丹	9	1.8
中丹西	-	-
中丹東	-	-
丹後	1	0.25

- 発生なし
- 発生
- 注意報
- 警報

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎：今週も京都市右京区で警報レベルが継続しています。

京都市域

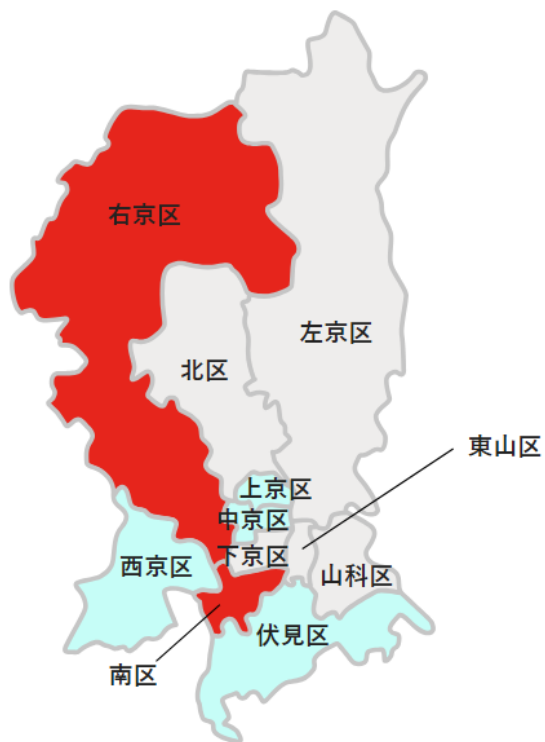


	罹患数	定点当たり
北	-	-
上京	1	0.33
左京	-	-
中京	2	0.67
東山	-	-
山科	1	0.2
下京	-	-
南	4	1
右京	29	5.8
伏見	7	1.4
西京	6	1.2

- 発生なし
- 発生
- 注意報
- 警報

伝染性紅斑：今週も京都市南区・右京区で警報レベルが継続しています。

京都市域



	罹患数	定点当たり
北	-	-
上京	1	0.33
左京	-	-
中京	3	1
東山	-	-
山科	-	-
下京	-	-
南	6	1.5
右京	7	1.4
伏見	3	0.6
西京	2	0.4